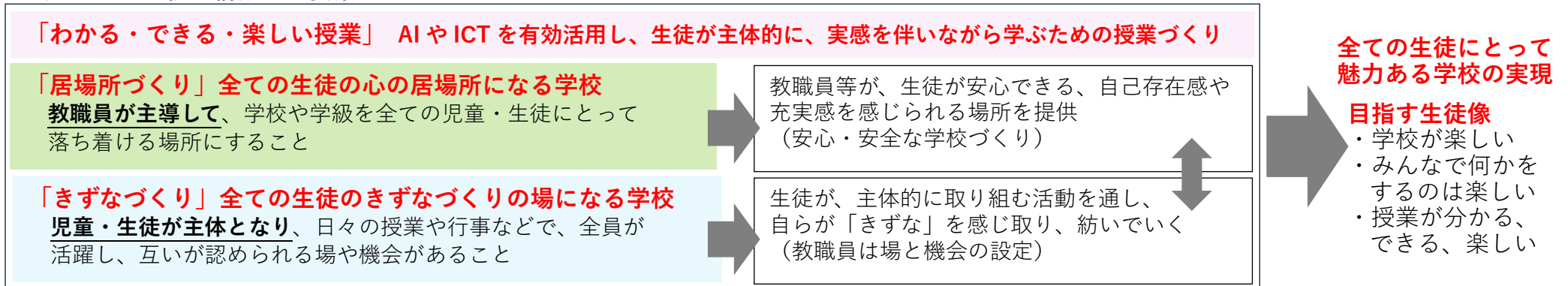


令和8年度 校内研究「魅力ある学校づくり」について

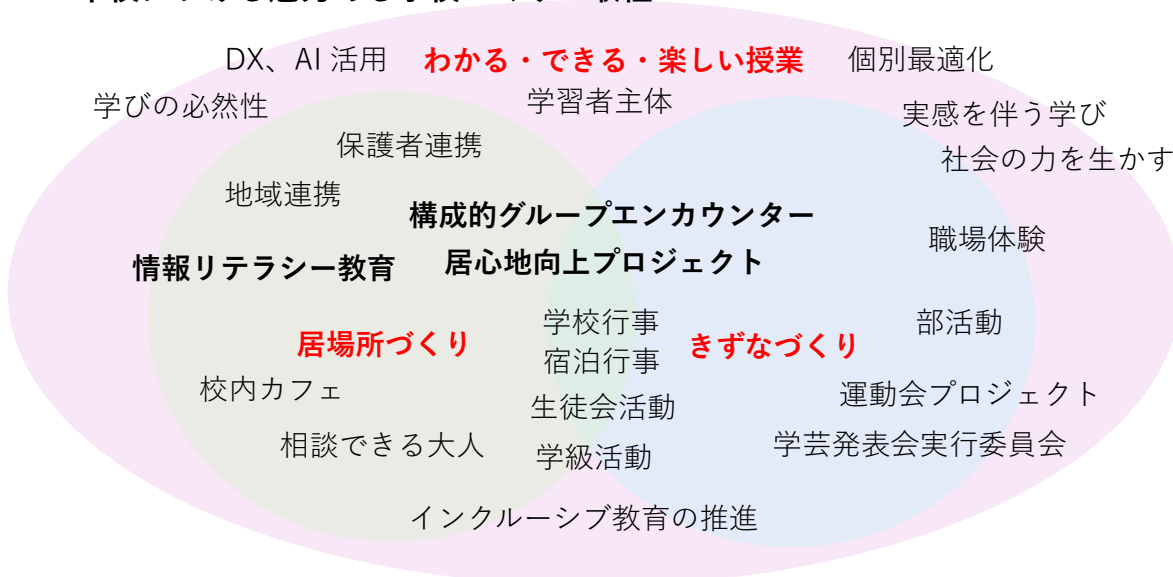
1 「魅力ある学校」とは 不登校の未然防止の視点で表現される言葉。(国立教育政策研究所・東京都教育委員会資料等による)

- ・「全ての児童・生徒が学校(学年・学級)を魅力ある場所と感じられるようにする」 「未然防止」の取組を進める必要がある。誰にとっても魅力ある学校であれば、おのず新規数は抑制され、不登校数は減少するはず」
- ・先生方は、日々、児童・生徒にとって「魅力ある学校・学級づくり」を目指して教育活動に取り組んでいることだろう。その願いや思いをより**実現させる取組の一つとして、教職員による「居場所づくり」と児童・生徒自身による「きずなづくり」を意識した教育活動**が挙げられる。
 「児童生徒を支援するためのガイドブック(東京都教育委員会)」

2 魅力ある学校を構成する要素



3 本校における魅力ある学校づくりの取組



4 研究の流れ

- 研究組織** 総括組織=研究主任中心の企画メンバー
 - ・学習面・校内研修+管理職の授業観察
 - ・生活面・生徒会活動、学校行事、学活等の日常的取組を丁寧に実施
 ※全員が学習・生活双方に関わり、研究主任がとりまとめ
- 仮説の設定** それぞれの仮説を設定(～すれば～だろう)
- 実践** 全教職員で両方を実践、情報交換
- 検証** a:生徒意識調査(定量的評価)

問1 学校が楽しい	肯定的回答の割合を検証
問2 みんなで何かをするのは楽しい	
問3 授業がわかる、できる、楽しい	

 b:振り返り等による検証(定性的評価)
- まとめと発表** 世田谷学びメッセでの発表(仮)